

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-106	Year Month Day Time 2019 年 5 月 4 日 9 : 30
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
開志国際	<table border="1"> <tr><td>17 1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>23 2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>17 3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>28 4th</td><td>16</td></tr> <tr><td>0 T</td><td></td></tr> </table>	17 1st	14	23 2nd	15	17 3rd	21	28 4th	16	0 T		明 成
17 1st	14											
23 2nd	15											
17 3rd	21											
28 4th	16											
0 T												
85 ○		66 ●										

主審:Crew chief
加川 真 宮城
副審:Umpire
及川 学 岩手
田中直幸 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	高木 拓海	CAP	19	3	5	0	2	4	／	小川 祥英		7	1	1	2	0
5	／	板澤 明日起		13	0	4	5	3	5	／	一戸 啓吾		8	2	1	0	1
6	×	永原 陸		2	0	0	2	1	6	×	越田 大翔		16	4	2	0	1
7		吉川 瑠		-	-	-	-	0	7	×	木村 拓郎	CAP	3	0	1	1	2
8	／	渡邊 渉太		0	0	0	0	0	8	×	菱倉 崇人		0	0	0	0	0
9		西村 洸星		-	-	-	-	0	9	×	加藤 陸		5	1	0	2	5
10		星 一輝		-	-	-	-	0	10	／	山内 ジャヘル琉人		0	0	0	0	0
11	／	小島 一真		2	0	1	0	0	11	／	浅原 紳介		3	1	0	0	1
12	×	小野 功稀		0	0	0	0	3	12	×	蒔苗 勇人		13	3	2	0	2
13	×	ジョーンズ 大翔		19	4	3	1	0	13	／	喜多 陸登		0	0	0	0	1
14	×	JOOF YUSUF		18	0	6	6	4	14		山崎 紀人		-	-	-	-	0
15	／	OKOYE PETER JUNIOR		12	0	5	2	1	15		玉手 孝明		-	-	-	-	0
16		石原 史隆		-	-	-	-	0	16	／	清水 晃		2	0	1	0	0
17		田村 歩夢		-	-	-	-	0	17	×	山内 シャリワ和哉		9	1	3	0	5
18	／	白澤 朗		0	0	0	0	0	18	／	河合 海輝		0	0	0	0	0
コーチ		富樫 英樹						0	コーチ		佐藤 久夫						0
コーチ		津野 祐樹						0	コーチ		高橋 陽介						0
合計				85	7	24	16	14	合計				66	13	11	5	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	19	22.35%	高木 拓海
2	19	22.35%	ジョーンズ 大翔
3	18	21.18%	JOOF YUSUF

1	16	24.24%	越田 大翔
2	13	19.70%	蒔苗 勇人
3	9	13.64%	山内 シャリワ和哉

Score ranking[Game]

1	19	高木 拓海	開志国際	2	19	ジョーンズ 大翔	開志国際	3	18	JOOF YUSUF	開志国際
---	----	-------	------	---	----	----------	------	---	----	------------	------

10序盤、明成は、厳しいディフェンスと外角のオフェンスで開志国際#14JOOFをプレーから遠ざけるが、肝心の外角シュートがなかなか入らずに苦戦する。インサイドで攻め切れない開志国際は、#4高木が3Pや速攻で得点する。終盤になると明成が3本の3Pを決めて17-14で10終了。

2Q、開志国際は#15OKOYEのゴール下などで得点差を広げ始める。明成は#6越田の3Pで反撃したものの、ここから開志国際#5板澤の連続得点、#4高木のブザービーターで点差を2桁とされ40-29で前半を終える。

3Q、明成は内外のパスが上手く回り#9加藤などの3Pで得点を重ねる。開志国際はインサイドのがんばりが得点につながるようになり、#14JOOFのタップシュート、#15OKOYEのダンクシュートなどで点差を維持していく。終盤に明成#17山内が連続得点し57-50と7点差まで詰めて3Qを終えた。

4Q序盤は、明成#6越田の3Pなどで一時4点差まで詰め寄る。この勝負がかかった場面で、開志国際は、#14JOOFを中心に連続得点し明成を突き放すことに成功。結局85-66で開志国際がこの一戦で勝利をものにした。